

# 2024年度 第1回 理事会

2024年5月9日 (木) 18:00~20:30

## 2023年度事業報告について

総会資料P1~P12 柄沢専務理事

### ○ 4つの基本方針に沿って事業展開を行った（資料P1）

#### 1. 高齢者対策

- ・ 県の補助事業である「在宅医療（栄養）推進事業」では在宅療養者等の疾病の重症化予防、QOLの維持・向上のための「誤嚥防止」や「よりよく食べる」ことを主軸におき、多職種と協働し、その仕組づくりに取り組んだ。
- ・ 新潟県後期高齢者医療広域連合や長岡の委託事業では、フレイル予防、糖尿病性腎症の重症化予防対策に向けて、個別栄養指導を行い栄養改善に努めた。
- ・ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会の構成団体として、地域ケア個別会議で助言者として参画し、個別の事例について適切かつ専門的な助言を行った。

## (1) 協議事項①

### 2.生活習慣病の発症・重症化予防

公益1の事業では、健康づくり啓発事業である講演会やセミナー、イベント等を他団体と協働で行い、県民の健康づくりに寄与した。

### 3.災害支援対策

- ・ JDA-DATリーダー育成研修及びスキルアップ研修会に3名が参加した。
- ・初のJDA-DATスタッフ養成研修会を開催し、28名がJDA-DATスタッフとして登録された。
- ・能登半島地震の支援活動として、全5回、新潟県JDA-DATリーダー8名を派遣した。
- ・新潟県主催の防災訓練に参加し、地域における防災時の支援活動の重要性を学んだ。

## (1) 協議事項①

### 4. 会員減少傾向の中での会の運営

- ・ 県栄の事務所内でのペーパーレス化やICTを活用し、会議は可能な限り、Zoomを使用してもらい、会場費や旅費の節約を図った。

それにより、Zoomによる役員会、打ち合わせ会議の定着や生涯教育研修会、他研修会のオンデマンド配信が定着し、会場の準備や移動時間の短縮に繋がった。

- ・ 情報発信においては、メールやホームページ、インスタグラムを活用し、経費削減に努めた。

○ 公益1・公益2の事業について(資料P2~P9)

○ その他の共益的事業について(資料P9)

○ その他(資料P9~P12)

# 2023年度収支決算報告について

総会資料P13~27 阿部事務局長

P13~P14 令和5年度正味財産増減計算書

R5.4.1~R6.3.31 (1) 全収入 (2) ① 公1・2の事業費 ②管理費

	決算額	予算額
経常収益	34,361,290円	37,527,354円
経常費用	33,016,539円	37,480,159円
正味財産期末残高	1,344,751円	47,195円

## (1) 協議事項②

### P15～16 正味財産増減計算書内訳表

公益目的（公1・2）、収益事業、法人会計ごとの内訳

#### 公益目的事業会計

経常収益 26,576,250円－経常費用 28,095,750円＝－1,519,500円

公益経常費用 28,095,750円／全計上費用33,016,539円＝85.1%

公益法人の条件は満たされている。

P17～18 事業別予算実績比較一覧表 各事業ごとの収入・支出の一覧

P19・20 貸借対照表 R6年3月31日時点での当会の資産状況

P21～23 財産目録 R6年3月31日時点での財産目録

P24 キャッシュ・フロー計算書 R5年4月1日～R6年3月31日の期間のお金の増減

## (1) 協議事項②

2023年度事業別予算実績比較一覧表（収支計算表）より・・・P17～18

### ① 公益1事業について

- ・収入は委託事業である、事業コード018の在宅訪問栄養食事指導の委託料が予算よりも2,358,336円少なく、事業コード071長岡市のCKD委託事業費が700,000円ほど予算より多かった。  
結果的に公益1事業収入予算よりも2,000,000円近く少なかった。
- ・支出は各事業予算計上より実績額は少なかったため、差額が大きなマイナスとならずに済んだ。

## (1) 協議事項②

### ②公益2事業

概ね予算計上に沿った収支であった。

但し職域事業部の研修については受講料収入が予算計上を多く下回っている。  
このことは研修参加者が少ないということより、今後の検討課題と思われる。

③収益事業会計においては、2023年度機関紙の発行を予算計上していたが、5月発刊になったため、収入（広告料）、支出574,000円が執行されなかった。



## (1) 協議事項②

### ④法人会計については

- ・ 会費収入が予定の1250名が1174名の-76名（874,000円）予算より下回った。
- ・ 経費が予算より下回った。
  - 総会　－110,000円　（縮小開催のため）
  - 三役・常任理事会・理事会　－100,000円（Web会議の拡大）
  - 支部・職域・業務執行部役員会　－380,000円

## (1) 協議事項②

### 会務監査

日 時 : 2024年4月16日 (火) 13時30分～15時30分

場 所 : 新潟県栄養士会 108号室

出席者 : 角谷ヒロ子監事・大平真由美監事

折居千恵子会長・柄沢専務理事・阿部幸子事務局長

監査事項 : 2023年度事業実施報告

2023年度会計書類一式

## 第5号議案

資料P41

柄沢専務理事

# 2024・2025年度役員改選について

- 2024・2025年度役員候補者 25名届出

# 第6号議案

## 2024・2025年度日本栄養士会定時総会代議員について

資料P42

柄沢専務理事

公益社団法人日本栄養士会代議員の任期満了に伴い、2024年1月15日付日栄発第23-601号にて標記代議員選出依頼が届き、会員に周知を行いました。期限までに立候補がありませんでしたので、代議員を理事候補者等より選出することを提案いたします。なお、代議員の任期は2026年度定時総会で次期代議員が選出されるまでの2年間となります。

### 代議員候補一覧

代議員候補 村山稔子 (理事候補者)

代議員候補 高橋洋平 (理事候補者)

代議員候補 山田祥子 (理事候補者)

代議員候補 角谷ヒロ子 (監事)

代議員候補 大平真由美 (監事)

代議員候補 折居千恵子 (日本栄養士連盟新潟県支部長候補者)

補欠候補 斎藤トシ子 (理事候補者)・・・6月22日日本栄養会総会終了までは日本栄養士会副会長であるため兼務は不可。

# (1) 協議事項④

## 定時総会について

柄沢専務理事

### 定時総会スケジュール

開催日 6月15日（土） 新潟テルサ 大会議室

10：00～11：00 在宅医療（栄養）推進事業 支部事業説明会（新旧支部長）

11：00～11：30 地域栄養ケア担当者説明会（新支部長、地域栄養ケア担当者）

11：30～12：30 受付開始 賛助会員による展示室開設 8社予定

12：30～ 総会開会

12：30～13：20 定時総会

第5号議案役員改選が承認されたら、第2回理事会を開催。新理事は会場の外にて  
代表理事（会長、副会長、専務理事）の選出を行う。

13：20～13：30 日本栄養士会連盟新潟支部 総会結果報告

13：30～13：35 展示協力賛助会員様のご紹介

13：35～13：55 休憩（展示再開）

13：55～14：25 式典

開会あいさつ

優良会員表彰

祝電披露

14：35～14：50 能登半島地震支援の報告 JDA-DATリーダー 清田 優理香氏

15：00～16：30 特別講演 「人生100年時代 100歳まで美味しく食べる秘訣

～管理栄養士に期待すること」

新潟大学歯学部 学部長 井上 誠先生

16：30

閉会

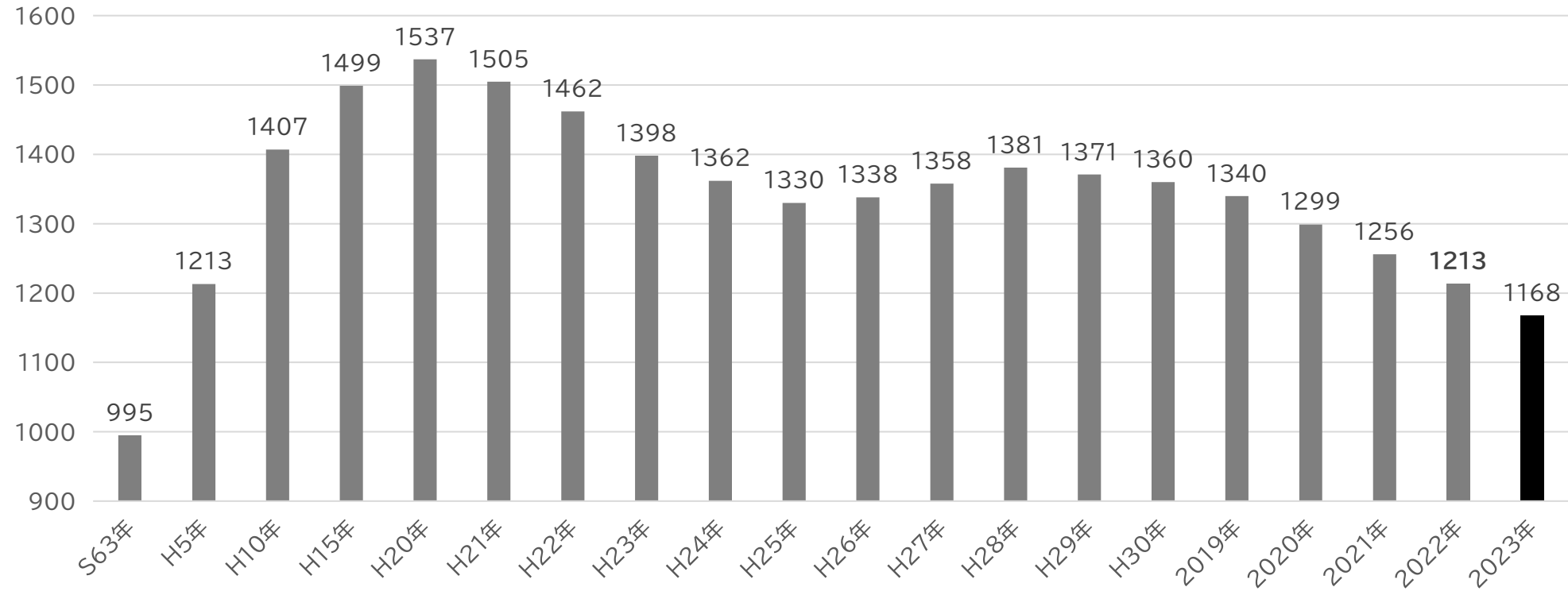
- 総会案内出欠確認 総会資料 委任状 新役員信任投票用紙を  
5月20日会員へ郵送予定
- 新役員信任投票用紙は全会員に郵送してもらう。
- 発言通告書は担当に回答をお願いし、HPにアップする。
- 総合司会 寺尾幸子  
議長 (魚沼支部)  
議事録署名人 澤口聡子・阿部幸 (三条支部)

## (2) 報告事項①

# 会員数について

資料P73

阿部



## (2) 報告事項①

新入会・再入会・退会・滞納の職域別内訳人数				
	新入会	再入会	退会	滞納
医療	17	4	28	8
学校健康教育	6	5	11	4
勤労者支援	1	0	3	1
研究教育	1	1	4	2
公衆衛生	9	4	4	2
地域活動	5	2	11	7
福祉	12	2	11	10
合計	51	18	72	34
	(2名入会后転出) 実数53名			

◆ 退会者の在年数内訳人数	
会員歴	退会者数
1～2年	8
3～5年	13
6年～10年	8
11年～20年	14
21年以上	29
合計	72

◆ 退会者の年代別内訳人数	
年代	退会者数
20代	12
30代	22
40代	9
50代	8
60代	13
70代	6
80代	2
合計	72

◆ 退会理由	
退会理由	人数
栄養士業務から離れている	12
退職	12
研修に参加不可、多忙	9
一身上の都合により	8
入会のメリットが感じられない	6
出産・育児・産休	1
会費が高い	7
□□□□□□□□□□□□□□	6
家庭の都合、介護など	6
高齢の為	4
納入忘れ（次年度再入会）	1
合計	72